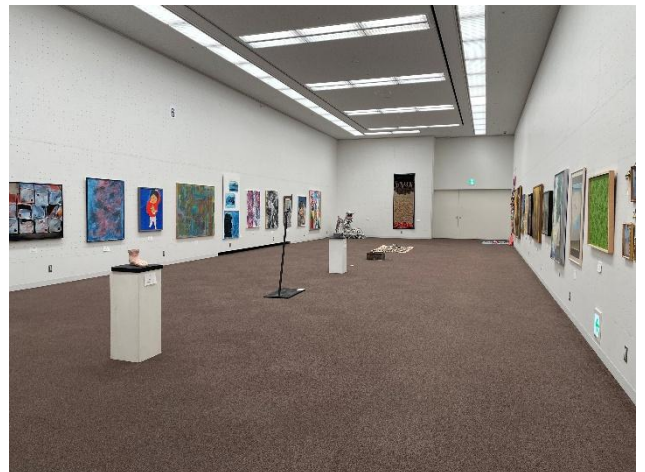


不思議の国より (No.8) (2026.6)
「上野の森」 Alice(西東京)

神戸のTさんからの電話で、5月下旬に上野の東京都美術館のアンドリュウ・ワイエス展を中心に美術館巡りをすると言う。会いたいと思ったが、今回はお嬢さんと一緒に、駆け足巡りで会う暇はないらしい。

都美術館と言うと最近通い詰めている。9条の会のYさんが饞別に下さった「9条切り絵」が5/4からの「9条美術展」に相応しいので、お断りして出展させてもらった。紅一点の切り絵は評判がよく、また、6日には「クローズアップ現代」を手がけた永田浩三氏の貴重なお話もあり、日参した。



Yさんが今度は、29日から同館で開かれる「朱葉会」の招待券を下さった。この会は、与謝野晶子が創立委員の1918年から続く女性画家の登竜門で由緒ある会、友人と行くのが楽しみだ。

ところが、それに続く6/6からの写真展「視点」に、小学校のクラスメートが入選し、案内が来た。6/23からは「新婦人」の仲間が関係する「職美展」が始まる。この調子だとどうやら上野通いが続きそう。

私はすっかり気に入ってしまった。大きな美術館だけでなく、無料の黒田清輝記念館などもある。ボードビリアンがあちこちで芸を見せ大人も子どもも大喜び、噴水は恋人たちの憩いの場、不忍池もいい。パンダはいなくなったが、日本一と言う上野動物園の年間パス1200円を買っておこうかしら？ それにしても民営化されると署名活動が続いている王子動物園はどうなっているのでしょうか？

